令和8年11月12日

令和8年度 第2回 大阪市立新庄小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立新庄小学校
校長名　　井上　泰志

日 時		令和8年11月11日（水）13:30～14:30	
場 所		新庄小学校 1階会議室	
	委員など	委員8名	
	校園	井上泰志（新庄小学校校長）　出口雄一（新庄小学校教頭）	
	区役所	東淀川区役所	
議題		(1)令和8年度「運営に関する計画中間評価」について (2)令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果について (3)その他	
協議要旨		協議の結果	意見の概要
	(1)	令和8年度「運営に関する計画中間評価」について説明する。 原案通り承認された。	【安心安全な教育の推進】 （委員） ・縦割り班でしっかり活動ができていて、異学年がつながっている。 【主体的・対話的な学びの実現】 （委員） ・漢字検定はデジタルではなく紙で書く解答なのか。紙のほうが、はね、はらいがしっかりできるのでは。 →（学校） ・紙で解答している。宿題や自主学習でもノートに子どもたちは書いている。 （委員） ・自主学習ノートを8冊も終わった子がいると聞いて、家庭の協力、保護者の理解が取り組みの結果となっていると思う。 ・いきいき活動で1年生でも自主学習をがんばっている姿を見て、すばらしいと思う。 【学びを支える教育環境の充実】 （委員） ・先生たちが17時には退勤していて、（時間外勤務について）数字に表れている。 ・ICT の活用がどの程度進んでいるのか。また、ミマモルメでの回答はどのくらいあるか。 →（学校） ICT について（一人一台端末）で心の天気の

			入力、連絡帳の活用や各学年に応じて学習のツールとして使用している。また、毎日持ち帰りも進めている。ミマモルメについては、（アンケートメール）を配信すると、ほとんどのご家庭が回答いただけている。回答がない場合は、電話連絡等を行っている。 （委員） ICT の活用について SNS の使用への影響もあるので、教科書を使ったり、紙に書いたりする学習を大切にしてほしい。 →（学校） ICT、デジタル化等の活用について、各学年の実態に応じて、限定的に使っている、例えば、調べ学習で検索する、理科などでデータを入力するなどがある。
	(2)	令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果について説明する。原案通り承認された。	(学校) ・国語科、算数科いずれも平均正答率が、全国と大阪市の平均値をやや下回るもほぼ平均あたりの結果となった。平均無回答率に関して、算数科で2．6ポイントとなり、粘り強く取り組み、研究の成果が出ている。 ・児童は家庭でしっかり育まれ、自己を肯定し、教職員も児童を認めながら、学校教育を進められている。 （委員） ・結果を見ていて、国語科の読解力が少し下がってきていると思うので、取り組んでほしいと思う。
	(4)	その他	（委員） ・子どもたちは、寒さに負けず、元気に登下校している。先生たちが熱心に子どもたちを見てくれている。信頼関係ができている。 ・外国籍の子どもたちが増えているが、どんな影響があるか。 →（学校） ・あいさつ週間で外国のあいさつをして在籍児童のあいさつに親しみを持たせたり、身近な国に親しむ週間で、外国の遊びなどを通して、文化に触れたりすることで、つながりを持たせるような影響がある。受け入れに苦労はあるが、子どもたちの教育に返せるように前向きに捉える促しをするようにしている。 （委員） ・登校の見守りで、こちらが大きな声であいさ

			つすると子どもたちも大きな声で返してくれた。 ・（中間評価）について、Ａとしてもよいぐらいがんばっていると思う。 ・運動会では、みんなしっかり声が出ていて、運動ができていた。 ・学校の安全対策として、学校の中を見えにくくするフェンスを取り付けることはよいと思う。
協議 資料	・会次第 ・令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ・令和8年度「運営に関する計画中間評価」 ・令和8年度　第2回学校協議会資料		
備考	傍聴者[　０　]名		